

学習支援計画書（シラバス）

学生は、大学生としての基本的な修学能力を育成するために、自らが修学計画を立案、実行していく学習スタイルを構築する必要があります。そのために、各授業科目の目標、教育内容などを明示した学習支援計画書（シラバス）を公開し、教育内容のオープン化を行っています。また、授業内で定期的に自己点検や振り返りを行い、学習支援計画書に明記している「学生が達成すべき行動目標」について各自の達成度の確認を行います。

みなさんが修学・履修計画を立てる際は、学習支援計画書をぜひとも参考にしてください。学習支援計画書には、以下の内容が掲載されています。

平成31年度 学習支援計画書

① 授業科目の概要

授業科目区分	科目名	単位数	科目コード	開講時期	履修条件
前年度教育課程 新学課程 初年度	留学英語 A Basic Style for Study A	2	0201-01	1期（前期）	留学課程4年を修得

② 担当教員

研究分野	内閣府職員	電子メール	オフィスアワー

③ 授業科目の学習教育目標

学習教育目標

1. 留学英語 A の学習目標を達成することにより、学生生活に課した課題を克服し、学習習慣や生活習慣を確立し、学習や生活に積極的に取り組むこととなる。自己管理能力や英語力の向上により、その重要性を認識し、本学学生として学習や生活に高い関心と責任感（「学問探究」システム）を有するよう意識し、身に付けることができる。学習支援計画と達成のための学習を行い、自己管理能力を高め、キャリアデザインの実現を目指す。

履修の前提となる学習の到達目標

1. 英語能力を向上させ、「EIT（EFL）」（学生生活）の履修を促すことができること、本学学生としての意識や行動に即する態度、成果を達成する。また、大学の建設的知識と有用性を確認して、自己学習の意欲を高める。

2. 履修の前提となる学習の到達目標として、英語能力の向上を図る。

3. カリキュラムセンター課題を履修し、自身の取り組みを、グループでの発表を行い、キャリアデザインの必要性を認識する。

4. 文章・小論文作成の基本的な技術を学習し、実践することで、正しい文章構成力を身に付ける。

5. グループ討論・発表の基本的な技術を学習し、実践することで、それらの技術を身に付ける。

6. 留学支援計画の履修到達目標を達成する。大学の教育課程、留学支援計画、英語教育課程、英語教育実践、英語教育実践・専門教育実践と教育制度についての理解を深める。

7. 留学支援計画の履修到達目標を達成する。大学の教育課程、留学支援計画、英語教育課程、英語教育実践、英語教育実践・専門教育実践と教育制度についての理解を深める。

8. 学習・生活面など、留学支援計画についての個人課題を行う。

④ 教科書および参考文献・リソース

教科書：なし
参考文献：なし
リソース：なし

⑤ 履修に必要な予備知識や技能

1. 「EIT（EFL）」を履修し実践する意志
2. 「学生生活」を履修し実践する意志
3. 英文と日本語の「EIT（EFL）」を履修し実践する意志
4. 「自ら学ぶ」という意志と態度

⑥ 学習成果の評価方法

評価項目	評価方法	試験	レポート	成果発表 （演習・発表）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
知識と理解の割合		5	5	20	5	0	45	35
知識を教える能力		5	5	10	0	0	5	15
発表・説明・創造する力		5	0	15	0	0	11	20
批判的思考力		5	0	0	0	0	0	5
実践・表現・伝達する力		5	0	15	2	0	15	30
学習・実践の姿勢・態度		5	0	0	0	0	15	20

⑦ 評価方法

⑧ 総合力指標

- ①科目の単位数や開講期
- ②科目担当者情報：空欄（初回授業時に通知）
- ③学習教育目標とキーワードおよび授業の概要
- ④授業で使用される教科書や参考書
- ⑤履修前に必要とされる知識や技能など
- ⑥学生の行動目標「何ができるようになるか」
教育プログラムでの教育目標との関係
- ⑦評価方法と評価割合
- ⑧総合力指標

⑨ 評価の方法

評価項目	評価方法	試験	レポート	成果発表 （演習・発表）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
知識と理解の割合		5	5	20	5	0	45	35
知識を教える能力		5	5	10	0	0	5	15
発表・説明・創造する力		5	0	15	0	0	11	20
批判的思考力		5	0	0	0	0	0	5
実践・表現・伝達する力		5	0	15	2	0	15	30
学習・実践の姿勢・態度		5	0	0	0	0	15	20

⑩ 具体的な達成目標

学習支援計画書の目的

- 「留学英語 A」の学習目標を達成することにより、学生生活に課した課題を克服し、学習習慣や生活習慣を確立し、学習や生活に積極的に取り組むこととなる。自己管理能力や英語力の向上により、その重要性を認識し、本学学生として学習や生活に高い関心と責任感（「学問探究」システム）を有するよう意識し、身に付けることができる。学習支援計画と達成のための学習を行い、自己管理能力を高め、キャリアデザインの実現を目指す。
- 「履修の前提となる学習の到達目標」を達成することにより、本学学生としての意識や行動に即する態度、成果を達成する。また、大学の建設的知識と有用性を確認して、自己学習の意欲を高める。
- 「履修の前提となる学習の到達目標」を達成することにより、本学学生としての意識や行動に即する態度、成果を達成する。また、大学の建設的知識と有用性を確認して、自己学習の意欲を高める。
- 「履修の前提となる学習の到達目標」を達成することにより、本学学生としての意識や行動に即する態度、成果を達成する。また、大学の建設的知識と有用性を確認して、自己学習の意欲を高める。

- ⑨評価方法ごとの行動目標との関係と、評価の実施方法や注意点
- ⑩当該科目で期待される理想的な達成度レベルと標準的な達成度レベル

⑪ 授業の概要

⑪ 各回の授業内容（レポートや学習課題、予習・復習の内容と目安となる学習時間）

回次	授業内容	授業の進め方	学習時間（予習・復習）	時間（分）
第1回	● オリエンテーション 「留学英語 A」という授業の概要 「（履修）と「学生」の関わり」と「学修」の関わり 「留学英語 A」の目的と意義 「留学英語 A」の学習目標と達成のための学習 「留学英語 A」の履修到達目標と達成のための学習	履修到達目標の達成	【課題】 ・ 履修到達目標 ・ 履修到達目標 ・ 履修到達目標	30 30 30

e シラバス

e シラバスは、学習支援計画書（シラバス）に基づき、各回の授業内容をより具体的に示しています。教員が課題の提示や提出を e シラバス上で行ったり、教材の配信を行うこともあります。

e シラバス上に詳細な授業内容や教材・課題が明示されることがあります。予習・復習に活用し、学びの過程や自らの理解度を確認し、さらなる学修への足掛かりにしてください。

■ e シラバスへのアクセス方法

下記の手順で学生ポータルから KIT ナビを開き、参照する科目をクリックします。

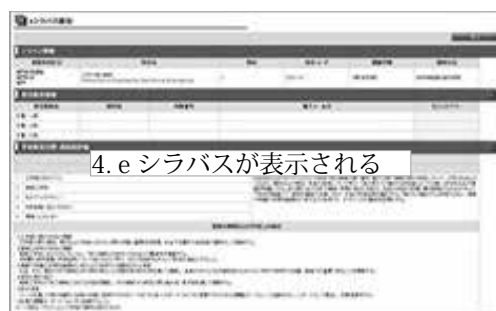
学生ポータル Top



学生個人ページ



e シラバス



KIT ナビ



e シラバスの詳しい操作方法は、学生ポータルログイン後の画面左側にある「各種マニュアル」から参照できます。科目によっては、教員から e シラバス上で課題の提出などを指示される場合があります。マニュアルを読んでも操作が分からない場合には、「情報処理サービスセンター (p. 90)」に質問してください。